

日本インダストリアルデザイン協会 (JIDA)におけるデザイン振興活動

公益社団法人日本インダストリアルデザイン協会 理事 田崎咲絵

◇日本インダストリアルデザイン協会(JIDA)とは
日本で唯一のインダストリアルデザイナーの全国組織
公益社団法人日本インダストリアルデザイン協会
(JIDA)は、プロフェッショナルなインダストリアル
デザインに関する唯一の全国組織です。その前身
は、1952年に創立された「日本インダストリアルデ
ザイナー協会」であり、2021年に「日本インダスト
リアルデザイン協会」へと改変致しました。

インダストリアルデザインは、量産を前提とした
工業製品の「使いやすさと美しさ」を目的とし、モノ
づくりに関わるデザイン領域として発展してきました。
そして今日では、産業全般にわたる領域を対
象とするだけでなく、その手法・意味・役割などを
大きく広げています。もはやインダストリアルデザ
インは、従来の製品開発のみならず、人々の生活体

験や価値の創造へと展開し、「社会・経済の持続的
発展」と「生活文化の向上」を使命としています。

JIDAの具体的な活動対象は、「調査・研究、セミ
ナー、体験活動、資格付与、ミュージアム、交流」
という公益6事業（後述）が中心となっています。
また、これらの活動とともに、会員相互の情報共有
や職能支援をおこない、プロフェッショナルな能力
の向上に努めています。こうした活動は、相乗的に
インダストリアルデザインを深化充実させ、変化を
続ける社会に貢献するものとなっています。

このようにJIDAは長い歴史と実績を背景として、
常に社会と時代の変化に目を向け、インダストリア
ルデザインを通じた心豊かな未来の創造を目指して
歩みを続けています。

